

～西部地区の小中学校が目指したい～  
 「めあてーまとめ・振り返り」を生かした授業づくり(案)  
 →全員がめあてを達成できる授業づくり

**「めあてーまとめ・振り返り」を生かした授業づくりのチェックリスト**

チェックリストを活用して日々の授業を振り返りましょう。  
 全ての先生が中級以上を目指しましょう。

校内授業研究会で、授業を見る視点としても活用できます。

	初級	中級	上級
<b>めあて</b>	<input type="checkbox"/> 本時の単元名やタイトルを「めあて」として提示している。 <input type="checkbox"/> 教師が用意した「めあて」を設定し、提示している。	<input type="checkbox"/> 本時のゴールイメージから「めあて」を構想している。 <input type="checkbox"/> 「まとめ」と「めあて」が正対している。 <input type="checkbox"/> 子供の疑問や気づきをもとに「めあて」を設定し、提示している。	<input type="checkbox"/> 追究に向けての必然性や意欲を持つことができるよう、課題を子供から引き出し、「めあて」として提示している。 <input type="checkbox"/> 子供が自ら「めあて」を設定することができるよう、既習事項との相違点や共通点を明らかにしている。
<b>まとめ</b>	<input type="checkbox"/> 教師主導で本時の「まとめ」を行い、板書等で提示している。	<input type="checkbox"/> 子供の発言から「まとめ」を作成し、板書に整理している。 <input type="checkbox"/> 教科ならではの学習用語を取り入れている。 <input type="checkbox"/> 全ての子供がアウトプットする場を設定している。	<input type="checkbox"/> 子供が自分の力でまとめることができるよう、必要なキーワードを子供から引き出し、板書に整理している。 <input type="checkbox"/> 理解確認のための問い返しをすることで、全ての子供が「まとめ」について具体的にアウトプットできるようにしている。
<b>振り返り</b>	<input type="checkbox"/> 感想や質問を書く時間を設定している。 <input type="checkbox"/> ノートやワークシートに振り返りの記入欄を設けている。	<input type="checkbox"/> 具体的に振り返ることができるよう、振り返りの視点を示している。	<input type="checkbox"/> 振り返りに対して教師が価値づけや問い返しを行うことで、「何が分かり、できるようになったのか」を全ての子供が自覚できるようにしている。

大切なのは、ゴールイメージを明確にして、子供を引き出し、学習内容の定着を図る授業づくりをすることです。教科の特性や単元の展開に応じて「めあてやまとめ・振り返り」を適切に設定しましょう。

◇めあて	
<input type="checkbox"/>	本時のゴールイメージから「めあて」を構想している。①
<input type="checkbox"/>	「まとめ」と「めあて」が正対している。②
<input type="checkbox"/>	子供の疑問や気づきをもとに「めあて」を設定し、提示している。③
◇まとめ	
<input type="checkbox"/>	子供の発言から「まとめ」を作成し、板書に整理している。④
<input type="checkbox"/>	教科ならではの学習用語を取り入れている。⑤
<input type="checkbox"/>	理解確認のための問い返しをすることで、全ての子供が「まとめ」について具体的にアウトプットできるようにしている。⑥
◇振り返り	
<input type="checkbox"/>	具体的に振り返ることができるよう、振り返りの視点を示している。⑦
◇タイムマネジメント	
<input type="checkbox"/>	時間内に本時の振り返りまで到達し、全ての子供が本時の学びを自覚できるようにしている。⑧

# ①本時のゴールイメージから「めあて」を構想する

例：小学校6年社会科「江戸幕府と政治の安定」

【まとめ】(本時のゴールイメージ：子供が本時で学ぶべきこと)  
参勤交代を制度として定めることで、各藩に費用や労力を使わせ、大名の勢力を抑える仕組みを整えて、政治を安定させようとした。



## ②まとめと正対するめあてをゴールイメージから設定

【めあて】  
幕府が参勤交代を制度として定めた理由を考えよう。

# ④子供の発言から「まとめ」を作成する

幕府にとって参勤交代の制度は本当に必要だったのかな？



時間も労力もたくさん使うから、大名にしたら迷惑だよな。



すごく費用がかかってお金の無駄遣いだから必要ないと思う。

大名に費用や労力を使わせて、幕府が得することは何だろう？



大名の勢力を抑えて反抗できないようにしたんじゃないかな。そうしたら、幕府の政治が安定するよ。

【まとめ】(板書に整理※子供の発言は色チョークで書くなど工夫する)  
参勤交代を制度として定めることで、各藩に費用や労力を使わせ、大名の勢力を抑える仕組みを整えて、政治を安定させようとした。



何の教科の学習をしたのか分からないような「まとめ」にならないよう教科ならではの学習用語を適宜取り入れることが大切です。

## ⑤

# ③子供の疑問や気付きをもとに「めあて」を設定する



参勤交代っていう制度があったことはわかったよ。だけど、どうしてこんな大人数で遠いところまで歩いて行かないといけないのかな？



どうして幕府はわざわざこんな制度をつかったのかな？



じゃあ、今日はどんなめあてにしようか？

【めあて】  
幕府が参勤交代を制度として定めた理由を考えよう。

# ⑥全ての子供が具体的にアウトプットする

まとめ→理解確認のための教師の問い返し→子供のアウトプットで、まとめの内容の確実な定着を図る。



みんなで作った「まとめ」について順番に説明してみましょう。友達の説明のいいところを取り入れたり、「まとめ」に対する自分の考えを伝えたりしましょう。



参勤交代を制度として定めることで、大名の勢力を抑えて反抗できないようにしました。



参勤交代を制度として定めると、大名の勢力が弱まり政治が安定するので、幕府は得をします。



ぼくは武力で大名を従えるよりはいいと思うよ。それに、「街道や宿場町が整備されたり、江戸の文化が各地に伝わったりすることにも役立った」と資料にあったから、町民も得をしたんじゃないかな。



もう、みんなが自分の言葉で説明できそうですか？では、となり同士で説明し合ってみましょう。

説明の質が高まっていく

うまく説明ができなかった子供については、最後にもう一度指名し、確実にアウトプットができるようになります。



# ⑦ 振り返りの視点を示す



「解決した過程・学び」「獲得した知識・技能」「情意面」等を合わせ、子供が自覚的にまとめられるようにします。

## 【算数の振り返りの例】

はじめは、分母と分子をそれぞれたし算して3/10になると思ったけど、1Lますの図にかいてみたら、1/5が3つだから、分母はたさなくてもいいということが分かりました。練習問題もかんたんにできました。分母より分子の方が大きくなる場合の計算の方法について、次の時間に考えてみたいです。

## 【社会科の振り返りの例】

参勤交代の制度について、授業では賛否両論ありましたが、私は武力で大名を従えるよりはいいと思います。それに、「街道や宿場町が整備されたり、江戸の文化が各地に伝わったりすることにも役立った」と資料にあったので、町民は得をしたのではないかと思います。

## 【家庭科の振り返りの例】

家でハンバーグをつくったときに、中が生焼けになった原因が分かりました。中まで火を通すために、ふたをして蒸し焼きの状態にするという方法が分かってよかったです。家で豚ロース肉を加熱したときは肉の縮み方が違っていたので、肉の種類や調理の目的に合った加熱方法が必要だということが分かりました。

# 「めあて—まとめ・振り返り」を生かした授業づくり〈板書〉

**③ 子供の気付きをもとにめあてを設定する**

分母は同じだね。

式  $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$

整数ならかんたんだけど、分数でもたし算できるのかな。

**② めあてとまとめを正対させる**

めあて 分母が同じ分数のたし算の仕方を考えよう。

まとめ 分母が同じ分数のたし算は、もともとなる分数の何こ分になるかを考えれば、整数と同じように計算することができる。

**① ゴールイメージからめあてを構想する**

ゴールイメージからめあてを構想する

**⑥ 子供がアウトプットする**

答えも分数になる。分子も分母もたし算する。1Lますの図をかいて、線分図で表してみよう。

答えが1をこえてもいいの？

**④ 子供から引き出す**

1Lを5つに分けた「ます」を使っているから、たし算しても分母は同じだね。

1を5つに分けた3つ分

もともとなる分数  $\frac{3}{5}$

$\frac{1}{5}$  が何こ分になるかを考えると...

**⑤ 学習用語が使用される**

2/5 は 1/5 が ② こ

1/5 は 1/5 が ① こ

あわせて、

整数で計算できる！

要点は色に工夫

# 「めあて—まとめ・振り返り」を生かした授業づくり〈指導案〉

1 問題を把握する	<p>わり算かな？</p> <p>○なぜ、わり算になると思いましたが、1Lあたりを求めたら、</p> <p>- 数直線をかいてわり算かどうか確かめてみない</p> <p>□×3=1だから</p> <p>□=1/3</p>	<b>めあて</b>	<p>- 数直線を表示し、わり算になる根拠や答えがより小さくなることを確認できるように促す。</p>
2 めあてを設定する	<p>分数+整数の計算の仕方を考えよう。</p>		<p>- 前時のかけ算の学習との相違点や共通点を確認し、めあてを児童から引き出す。</p>
3 計算の仕方を知る	<p>もともとなる分数のいくつ分かを考える</p> <p>1が(4÷3)個では計算できない</p> <p>面積図を使って考える</p> <p>面積図の1マスは1/3？それとも1/5？</p>		<p>- 1/3と1/5を比較し、面積図の性質を使って3で割り切れるように計算できないか考えるように促す。</p> <p>- 面積図を縦に3等分することによって児童には、1/5を横軸にした図を準備しておき縦に3等分して考えることができるようにする。</p>
4 計算の仕方について話し合う	<p>1/5の分母と分子に3をかけて同じ大きさの分数で考える</p> <p><math>\frac{1}{5} \times 3 = \frac{3}{15}</math>、<math>\frac{3}{15} + \frac{3}{15} = \frac{6}{15}</math>、<math>\frac{6}{15}</math>が(1/3)個と考えればよい</p> <p>1/5の1を3つに分けるから1/5全体を分けないといけないと思う</p> <p>1/5を5×3で15に分けるので1マスの1/5は全体の1/15</p> <p>○式の考えでできたら3×3や4×3、1/5は面積図のどこにありますか。また、どちらの考えにも共通することはありますか。</p>		<p>- 式と面積図をつなげて考えることで、2つの考えを関連付けてまとめる。</p>
5 適用題を解く	<p>① <math>\frac{1}{3} + \frac{2}{5}</math></p> <p>面積図や式を使ってもともとなる分数のいくつ分かを説明</p>		<p>- 数を変えても式や図で考えたことが成り立つか問う。</p>
6 振り返る	<p>① 面積図と式で考えるときはどちらも、もともとなる分数のいくつ分かを考えることがポイントでした。友達の見解を聞いて、式で考える方法は、割り切れるように1/5を3にすれば計算できると分かりました。</p>	<b>まとめ</b>	<b>振り返り</b>

**知識・技能**

口算九九

めあて

見直し

自力解決

振り返り

まとめ

アウトプット

通用題 (量の確保！)

振り返り

0 5 10 15 20 25 30 35 40 45

45分で確実に力を付ける！

**8 算数の授業におけるタイムマネジメントについて(例)**

**思考・判断・表現**

問題把握

めあて

見直し

自力解決

振り返り

まとめ

アウトプット

通用題

振り返り

0 5 10 15 20 25 30 35 40 45